

新ごみ処理施設PFI導入可能性調査、環境影響評価及び事業者選定業務委託(別府・榎合)の 公募型プロポーザル審査要領

「新ごみ処理施設PFI導入可能性調査、環境影響評価及び事業者選定業務委託(別府・榎合)」に関する優先交渉権者の選考方法について、次のとおり審査方法と評価基準を定める。

第1 審査対象事業者

参加申込書のあった事業者で、定める参加資格を満たす事業者を審査の対象とする。なお、書類の不備、辞退届等の提出のある事業者は審査対象から除外する。

第2 優先交渉権者の審査方法

審査は、プレゼンテーションと提案価格により評価を行う。

別紙「プロポーザルの評価基準」に基づく総合評価を行い、審査の合計点で最上位の事業者を優先交渉権者として特定する。なお、上位2者が同点の場合は、くじ引きとし、優先交渉権者とする。

第3 審査の評価算出者

新ごみ処理施設PFI導入可能性調査、環境影響評価及び事業者選定業務委託(別府・榎合)プロポーザル審査委員会において、プレゼンテーション評価及び価格評価を行う。

第4 評価項目

プレゼンテーション審査の評価項目については、別紙「プロポーザルの評価基準」のとおりとする。

1 技術提案書及びプレゼンテーション評価の点数化

技術提案書及びプレゼンテーションにおける評価項目の点数化方法及び評価基準は、別紙「プロポーザルの評価基準」に示す評価項目ごとの「配点案」により評価を行い、表1に示す「評価項目の点数化方法」により点数化する。また、評価点の計算にあたっては、小数点第2位を四捨五入する。

表1 評価項目の点数化方法

評価	指標	点数化方法
A	優れている	配点×1.00
B	やや優れている	配点×0.80
C	平均的であり一般的である。	配点×0.60
D	物足りなさを感じる。	配点×0.40
E	物足りない。不安である。	配点×0.20

2 価格評価の点数化

提案価格の評価は、次の計算式で算出し価格点を採点することとする。

提案価格が、提案上限価格（設計金額）と同様の場合は0点とする

$$\text{価格点} = \left(\frac{\text{提案上限価格} - \text{提案価格}}{\text{提案上限価格} - \text{最低提案価格}} \right) \times \text{配点}$$

（少数点以下第2位を四捨五入）

3 最低基準点の設定

総合評価点が70点未満であった場合は失格とする。なお、参加者が1者の場合であっても審査を行い、最低基準点以上であった場合には、優先交渉権者として選考することができるものとする。

第5 その他

1 優先交渉権者との交渉

優先交渉権者との交渉などは次のとおりとする。

(1) 優先交渉権者との交渉

審査の合計点で最上位の事業者を優先交渉権者として特定する。なお、上位2者が同点の場合は、くじ引きとし、優先交渉権者とする。

(2) 交渉が不調となった場合

優先交渉権者との交渉が不調に終わった場合は、次点者を優先交渉権者とし交渉を行う。なお、次点者との交渉も不調に終わった場合は、さらに次点者を以って優先交渉権者とするが、それでも交渉が整わない場合は、優先交渉権者の選考をやり直すこととする。

プロポーザルの評価基準

評価項目	評価の着目点	点数	配点案
技術提案書の審査	業務の実施方針	5	目的、条件、内容の理解度が十分か。
	実施スケジュール その他 (15点)	10	PFI等導入可能性調査に応じた実施スケジュールが適切に計画されているか。また環境影響評価と並行しての入札公告時期について適切に設定されているか。
	特定テーマ1 事業スキームの形成にかかると課題認識と対応策	5	PFI等導入可能性調査の初歩にあたる事業スキームの形成について、本事業の特性及び工事条件等を踏まえ、その設定方法が適切かつ組合によって望ましい内容であるか。
	特定テーマ2 環境影響評価の公告縦覧開始を令和6年6月とした場合における工程達成に向けた課題と対応策	15	環境影響評価の公告縦覧開始を令和6年6月とすることを必達にした業務工程が適切に設定されているか。また、設定された実施スケジュールを確実にするための課題及び対処法が適切なものであり、必達目標の達成を確実にするものであるか。
	特定テーマ3 事業者選定に係る入札公告を環境影響評価書の公告縦覧前に実施することによるリスクと対応策	15	事業者選定過程で実施する入札公告を環境影響評価書を公告縦覧する前に実施することにより考え得る課題及び事業者選定に及ぼす影響について、実績等に基づき適切に整理かつ検討されており組合にとって望ましいものであるか。
	特定テーマ4 自由	10	本業務に関する独自提案が、地域特性やその他計画等と整合性が取られており、実現性も含め提案内容に説得力があるか。
	プレゼン能力 (10点)	5	説明内容の確性。業務理解度・実施方針・体制の妥当性及び技術提案の確性が十分に説明されているか。
	見積金額 (30点)	5	質問内容を的確に把握して、わかり易く適切な回答がされているか。
	見積金額 (30点)	30	本評価項目の配点 × ((提案上限価格 - 提案価格) / (提案上限価格 - 最低提案価格))
	審査合計		100